

久米 寿号

第121号
H25. 10. 1
久米地区
寿会連合会
文化 部

久米地区寿会連合会の活動状況

- 七月一日 「久米寿号第一二〇号」発行
- 七月八日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 七月十日～十九日 「夏の交通安全県民運動」に参加
輝きクラブ周南徳山支部理事會（於
徳山社会福祉センター）に参加
周南市老人クラブ活動費補助金を
輝きクラブ周南徳山支部を經由し
て受領
- 七月二十二日 周南市社協主催の東部地域老人大
学校（於久米公民館）に参加
「久米地区ふるさと夏まつり」
（於久米小学校）に協力参加
輝きクラブ周南徳山支部理事會
「久米寿号第一二二号」編集會議
久米地区社会福祉協議会主催「久
米地区敬老会」（於久米小学校体
育館）
- 七月三十日 久米地区寿連 単体会長會議
全国老人クラブ「社会奉仕の日」
活動を久米地区各単体会で実施
○九月二十一日～三十日 「秋の全国交通安全運動」に参加
久米地区寿連 単体会長會議
- 九月二十六日 「秋の全国交通安全運動」に参加

☆会員のお祝い

九月十六日の「敬老会」の席で、次の会員の
方々がお祝いを受けられました。おめでとこと
ございます。心よりお祝い申し上げます。

- ◎米寿 「周南市長から」
西村初音さん（中寿会）
河野ミドリさん（中寿会）
中村好男さん（中寿会）
岡崎登代子さん（上南寿会）
武廣豊子さん（上南寿会）
岡崎清枝さん（田中院内寿会）



☆会員の訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます
小林三郎さん（北寿会）
平成二十五年六月二十五日死去 享年八十六歳
中尾利博さん（中寿会）
平成二十五年九月四日死去 享年八十七歳

川柳・短歌

くめ・ひばり

エコと言いつかいたくないこの言葉
待つ雨も多すぎるのはじびすぎる

恙虫（つつがむし）

中寿会 井上好男

カーラジオで久しく聞かないニュースがながれた。ダニの被害について、草引きなどの後は、身体をよく洗うようとの注意。今年は被害者が多く死者数名あり翌日またテレビでも、被害者の皮膚が画面で見られたいままでニュースで、ダニの被害などの言葉を聞いたことがないのは私だけだろうか。

ダニは肉眼では見られないものから数ミリクラスまでいるが、死にいたるような毒の強いのがマダニである。先日テレビで寝具や衣類にまで億単位いる様子が確認放映された。昔から行われている虫干しと云われるものがある。日光に当てるだけで全滅らしい。これは家ダニその他、粉ダニ野菜などに付くハダニなどいるダニのなかでも恙虫は特に毒が強い。

手当てがおくられて死者まで出る時代、昔は痛くても痒くても死にまでは至らなかつたと思う。虫さされくらは数日したら治るだろうとかるく思うのが、我々年配者の考えかたである。以前と違い体質そのものが昔とくらべて菌に対する抵抗力がないのでは、いまごろは栄養豊富な食生活による体力と体質？は一致しないような気がする。

私は昭和三十年代から印刷にかかわっているが、このニュースで当時を思い出すことがある。今は全くと云っていいほどないが、手紙の書き出し文で、恙なくお暮らしのことと存じますとの文がある。恙虫に刺されないよう無事にとの意味から。また昔は旅人などを送るときに言葉に、恙なくいかれよなど。恙虫と恙なくは文字が同じ、久しく当時を想い、昔の人達が恙虫から恙なくの語源にしたのは納得できる。

女性委員会△云に出席して

上南寿会 森川ユカエ

七月二十二日に女性委員会研修会が有り、久米地区から五人出ていただきました。総員は全部で百十四人でした。九十歳の方も来て下さいました。講師は山口県女性委員会委員長の中村美子先生のお話で、「女性委員会の活動について」を話されました。

一人一人が責任を持つこと、委員は大変な仕事を持っていると話されました。自分は何をしたらうと、思いはすかしくなりました。

(一) 役員会の場では、意見が出しやすい雰囲気を作るように、心掛ける事。

(二) 話の内容がずれた時は、優しく今の課題に修正する。

(三) 攻撃的な言葉や人を傷つけるような言い方はしない。

(四) 上から目線の言動はしない。

どの話も、とても心にしみました。私が一番心に残ったのは、「上から目線で人に言わないこと」でした。お互いに年を取っているのに、やさしく話してあげなければ、と思います。笑いの絶えない場を心掛けるようにとお話されました。自分に出来るかな？と思っています。

心に残るお話でしたので、ちょっと、ペンを取りました。

上南寿会 石田敬枝

手術してもどろし視野に芍薬の花の息吹がふくらと立ち
雪かづき白くそびゆる富士の山夕やけ空の雲間にかくる
風にゆれ淡むらさきの山藤は池のほとりの色あいとなる

☆九月十六日、久米地区社会福祉協議会主催で久米地区敬老会が開催され、二百二十名の方が出席されました。その席で久米小学校四年生お二人からお祝いの言葉を頂きました。ご紹介します。

だいすきなひいおばあちゃん

久米小学校四年 お方もえな

私の熊本に住んでいひいおばあちゃんは、大正九年生まれの九十三歳です。今でも身の回りのことはすべて自分でやっています。大正、昭和、平成と三つの時代を元気に生きていてすごいなあと思います。私の自慢です。



遠くはなれているので、おばあちゃんとは、なかなか会う機会はありませんが、時々電話で話をしたり、手紙のやり取りをしたりして、いつもおばあちゃんを身近に感じています。おばあちゃんには私から届く手紙をとんでも楽しみにして、「宝物」だと言って大事にしてくれています。

以前、おばあちゃんと一緒に風呂に入った時、おばあちゃんの丸くなったせなかを妹とゴシゴシ洗ってあげると、

「長生きしてよかった」

と、喜んでくれたことがとてもうれしかったです。そんなおばあちゃんも二ヶ月ほど前に急にこしが悪くなってしまいました。一ヶ月ほど入院をしてリハビリをがんばったおかげで、今ではすっかり元気になりました。おばあちゃんのこしはますます丸くなったようですが、今度会った時は、もっともつと心をこめてせなかを洗ってあげたいです。これからますますと元気な長生きしてほしいです。みなさんもいつまでもお元気で長生きして下さい。

おじいさん、おばあさんへ

久米小学校四年 中村隼介



ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは、ぼくの家のすぐ近くに住んでいます。おじいちゃんは何度か入院をしたことがあって、体があまり丈夫ではありません。あまりお家を出ることはありません。早く元気になってほしいです。早く元気になったら、ずいぶん歳をとっていても、おばあちゃんとはとても元気で料理も得意で、ピザやおそばをよく作ってくれます。とても美味しくて大好きです。また、ひいおばあちゃんも、近くに住んでいて、ずいぶん歳をとっていても、まだまだ元気で庭の草抜きをしている様子をよく見ます。おじいちゃんもおばあちゃんもひいおばあちゃんも家の近くのすぐ近くに会えに行けて、色々なお話も出来ます。

また、ぼくの家の周りには他にもたくさんのおじいさんやおばあさんがいて、よく犬の散歩をしていらっしやいます。一度、その犬にほえられたけど止めてもらった事があります。また、みなさん元気で、この暑い夏も草抜きを頑張られておられました。何度も挨拶を交わすおじいさんもお名前が知らないのですが、ジュースをもらった事もあります。去年三年生の時は、久米の昔の事を調べる時に地域のおじいさんやおばあさんにとってもお世話になりました。昔の山陽道の様子を教えてもらったり、お大師様の番号も教えてもらいました。ぼくは、久米小学校に来てまだ二年目ですが、この二年間で久米の事もずいぶんわくわくなり久米の子どもにもなれました。これからも久米の事をたくさん教えてください。それから、朝夕学校の行き帰りに、あいさつをくださるおじいさんおばあさんもたくさんおられて、ぼくも元気に毎日学校へ行っています。

みなさん、これからもいろいろお世話になると思いますがいつまでもお元気で。

弔 叙示

上南寿会 山田定子

婚活、就活等の言葉をよく聞く昨今。私事朝活(学)は、朝七時〜九時頃までテーブルについて読み書きをしている。中国新聞の天風録、書き写しノート。しかし経年劣化の身体、目の異常で今後どれだけ続けられるか疑問である。最近の記事、周南市金峰の集落で起こった金峰殺人・放火事件で、容疑者の行為は絶対にゆるされるものではないが、容疑者と弁護士の見解で、集落の周囲との関係性は事件の大きな要因と考えられるとした。両親の介護の為帰省し、十年前両親の死後、同集落に残った理由については、自分が高齢であることや、両親の墓を置いて暮

らすことは考えられないという。「良心の呵責」人の生きる道であると思う。

半世紀前ごろまでは、逆憂(さかうれい)といって親より子の方が先に逝くことは、親不孝として、火葬場や埋葬場(お墓)に親は臨席しない因習が田舎ではあった。また臨終行事の「末期の水」についても、臨終の時家族が集まり、看取り「喉がガラガラ」なるのが未だに耳(心)に残っている。嫁いで一年目、私は姑の末期の水を取ったのも長男の嫁として、当然の行儀であると自負している。弔祭について、以前は亡くなった人を家族が看取り送ることが常識とされていた。戦後民法から「家制度」がなくなり「家意識」が薄くなった近年、子が親の面倒



を見、子孫が先祖を祀るといふ、日本では当たり前に見られてきたシステムが変り始めている。

終わりよければすべてよしという人生もあるが、縁のある人の死や葬儀の意義、先祖の祭祀相続についても、親から子へ、子から孫へ、と伝承すべきと思う。家も地域も人間関係が希薄になる中で、死者だけでなく生者にも向きあい、寄り添う様な宗教が望まれるような社会であって欲しい。

人は生まれる時、泣いている。まわりの人は笑っている。人は死ぬ時、笑っている。まわりの人は泣いている。

そんな人生を私は送りたいと思っている。